

# みあれ祭りと宗像大社中津宮

福岡県・宗像市



「正平年中行事」「宗像大菩薩御縁起」などの古書によれば神宮皇后が三韓遠征の際、軍船が宗像三神の守護を受けて出兵。首尾よく目的を達成したという。その神徳をたたえたのが祭りの起源。いつの頃から大漁祈願の行事として漁民に受け継がれ中世の頃まで盛大であったが、中世以降中断され、昭和37年に復活された。

全国的に有名になった宗像大社のこのみあれ祭りは、秋の大祭（十月一、二、三日）の初日に宗像三女神が新しい神になって宗像市田島の辺津宮に集まれお祭りを受けられることをいう。そのために沖ツ宮（沖ノ島）、中ツ宮（大島）の神がお供の船をしたがえて海を渡っておいでになる海上御神幸である。当日午前九時御座船二隻（その年新造の漁船）は海上安全、宗像神社の大旗をなびかせて数百隻の供奉船をしたがえ大島漁港を出港し、地島の前から鐘崎沖でユーターンして一路神湊に向かう。先導船に続く御座船は、大旗をなびかせ白衣の奉仕員が乗組み、数百隻の供奉船もそれぞれ大旗をなびかせ、天地を圧するエンジンの音、威風堂々大船団の航海は、宗像海人のかつての活躍を思わせるものがある。

漁船は鐘崎、神湊、地島、大島、津屋崎、福岡の各漁港より400隻程度出港。

## TOPICS

- ・筑前玄海魚まつり 5月下旬開催
- ・特産品：玄海とらふく、釣アジ玄ちゃん

## お問い合わせ先

宗像大社

TEL / 0940-62-1311

URL / <http://www.munakat-taisha.or.jp/>

## 【交通】

バス / JR東郷駅から20分

